

4 歳児保育指導案

- 1 日時・場所 平成 30 年 11 月 8 日（木） 9 時 00 分～11 時 30 分
 基町幼稚園 園庭・各保育室
- 2 対象児 4 歳児 つき組 21 名（男児 13 名 女児 8 名）
- 3 主な活動の内容 「みんなで一緒に遊ぼう」

4 幼児の姿

- 登園後の身支度の仕方が分かり、自分で進んでしようとしている。また、当番の仕事「お休み調べ」では、喜んで欠席者の人数を伝え、職員室からの伝言を聞いて友達の前で伝えるなど、はりきって行う姿が見られる。絵本の読み聞かせでは、興味をもって聞いている幼児も多いが、友達が気になり絵本に集中していない姿も見られる。
- 運動会を通して 5 歳児が運動遊びに挑戦する姿に刺激を受け、縄跳びや竹馬、一輪車などに挑戦する姿が見られるようになってきた。また、気の合う友達を誘ってごっこ遊びをするなど友達と関わって遊ぶ姿が見られる。その中で自分の思いを伝えようとするがうまく表現できず、思いが行き違いトラブルになる幼児もいる。
- 遊びを振り返る「にこにこニュース」の時間には、遊びで楽しかったことを友達の名前を出しながら自分の言葉で伝えようとする姿が見られる。友達に名前を言ってもらおうと笑顔を浮かべるなど、楽しかった思いを友達と共有する姿も見られるようになってきている。一方で、友達の姿を見て伝えたい気持ちはあるが、友達の前で話すことに自信がなかったり、恥ずかしがったりする姿も見られる。

5 指導にあたって

- 身支度を自分でしようとする気持ちや姿を認め、見守りながら状況に応じて個別に声を掛けたり、一緒にしたりしていく。絵本の読み聞かせでは幼児が物語の世界を楽しみつつ、いろいろな言葉に親しめるように幼児の興味や関心に応じて幅広い内容の絵本を選び、落ち着いた雰囲気を読み聞かせが進められるようにしていきたい。
- 運動遊びに意欲的に挑戦している姿を認めたり、周りの友達と一緒に応援したりして、体を十分に動かす楽しさを感じながら友達と繰り返し遊べるようにしていきたい。また、ごっこ遊びの中で友達とイメージを膨らませて遊びが盛り上がるように、幼児のアイデアを認めたり、共感したりして自分の思いを出せる雰囲気をつくっていきたい。その中でトラブルになった場合には、うまく伝えられない気持ちを受け止め、どのように伝えたらよいのかを一緒に考え、自分の思いを言葉で伝えられるようにしていきたい。
- 「にこにこニュース」の時間では友達と一緒に遊んだ楽しさや困ったことなどを振り返り、次の日の活動への期待や意欲をもてるようにしていきたい。また、幼児が安心して話せるよう、側で見守ったり言葉を補ったりしていき、幼児の思いに共感していきたい。

6 ねらい・内容

- 自分の思いを出しながら、先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・先生や友達と関わって遊ぶことを楽しむ。